

○販売会当日の様子（12月13日（金）、14日（土）） 場所：北海道どさんこプラザ札幌店



商品を陳列した売場の様子



販売実習の様子（根室高校）



販売実習の様子（富良野緑峰高校）



イベントのPRをする様子（更別農業高校）



イベントのPRをする様子（留萌高校）



2日間で完売することができました！



中島教育長へ接客対応の様子（苫前商業高校）

<販売当日までの流れ>

- 事前情報交換会（12/2（月））
販売協力校の皆さんが、どの商品についても説明できるように、商品の提供校から商品のPRポイントなどについて説明を受けました。
- 販売前日準備（12/12（木））
商品の陳列やPR方法などアイデアを出し合い、売り場の準備を行いました。
- イベント当日（12/13（金）～14（土））
PRコーナーや、販売ブースにおける対応を分担して行いました。
接客においては、事前情報交換会で学んだ内容を基に、お客様へ商品の説明をしました。



中島教育長と参加した生徒で集合写真（富良野緑峰高校、留萌高校、苫前商業高校、根室高校）

【販売担当校】

12/13（金）
富良野緑峰高校
留萌高校
苫前商業高校
更別農業高校
根室高校

12/14（土）
富良野緑峰高校
留萌高校
苫前商業高校
根室高校

販売予定の商品は全て完売となり、来場された方々から好評をいただいたほか、生徒にとっても今後の学習につながる多くの学びがありました。



○お客様の声

- ・高校生は積極的で元気があって好感がもてた。また、商品説明もしっかりしてくれた。
- ・緊張しながらも頑張って声をかけてくれていると感じ、嬉しかった。
- ・是非、今後もこのような企画を続けてほしい。

など

○事後情報交換会（12/16）、アンケート調査での参加生徒の声

- ・事前にもっと他校の商品研究をするべきだった。
- ・商品のレシピなどを掲載したチラシを、作成するとよかった。
- ・テレビやラジオ、InstagramやXなどで告知するとよい。
- ・お客様に「この商品は食べたことある？」と聞かれ、事前に試食会を行うとよいと思った。
- ・ポスターを駅の構内などの様々な所に貼るなどして、もっとPRしてもいいのではないかなど



マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」

ONE-TEAM News

北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導係

第5号

令和7年(2025年)
2月17日

令和6年度から2か年で実施する文部科学省マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」の取組や専門高校と産業界との持続可能な連携など、各校の好事例について情報提供します。



『4 S サミット』を開催しました

令和7年1月24日(金)、産業教育に最前線で携わる代表者が一堂に会し、「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」における取組が、専門高校と産業界との持続可能な連携に資するよう、次年度に向けた共通認識を図ることを目的として開催しました。

○「4 S」とは？

- ・専門高校 (Senmon Koukou)
 - ・産業界 (Sangyoukai)
 - ・産学連携コーディネーター (Sangakurenkei Coordinator)
 - ・指導主事 (Shidoushiji)
- の4つの「S」を意味し、それぞれの代表者が一堂に会し意見交換を行う場が「4 S サミット」です。

専門高校と産業界のサステナブルな連携について協議

専門高校

産業界

産学連携
コーディネーター

指導主事



○基調講演 「北海道に根ざした企業が考える人材育成～未来の北海道産業を考える～」

講師：株式会社セイコーマート商品本部取締役本部長 辻道 雅彦 氏



セイコーマートにおける人材育成等について説明する辻道氏

- セイコーマートのサプライチェーン全体に関わる取組
- 北海道産業と密接に関わった地域との取組事例として、自治体との協定締結や、地域からの要請に応えた出店事例
- 地域産品を活用した商品開発（規格外メロンを活用した商品、和ハッカを使用したチョコミントアイスバーなど）
- 高校生対象の各種コンテスト開催や、学習の成果を生かした製品の商品化など、次世代の人材育成に関わる各種取組の紹介
- 人材育成においてチャレンジ精神や向上心、実行力や地域貢献への思いを育むことが重要

○意見交換・協議 進行：ONE-TEAM コミッティ委員（北海道産業教育審議会会長）岡部 善平 氏

協議議題1

「縦のつながり～企業や中学校とのサステナブルな連携の実現に向けて～」

※参加者からの主な御意見

- 学校と企業の連携においては、目的を共有した上で Win-Win の関係を構築することが大切。
- 学校でできること、企業でできることは異なるので、互いの得意分野を生かした、持続可能なキャリア教育を行うことが重要。
- 「職業学科理解推進ガイド」※のように、進路について中学生の主体性を生かすことにつながる取組が必要。
- 中高の連携は単発ではなく、カリキュラムに入れ込む必要。

※中学生や保護者、中学校の先生方に、職業学科についての理解を一層深めてもらうことを目的として作成したガイドブック。詳しくはこちら→



協議議題について、意見交換を行う様子

協議議題2

「横のつながり～職業学科の垣根を越えた専門高校 ONE-TEAM の実現に向けて～」

※参加者からの主な御意見

- 学科間連携は、時間割や行事の調整など難しい面もあるため、第三者の調整役が入ることも1つの方法である。
- 専門高校に入学すると、進路の選択肢が狭くなるイメージがある。学科間連携を推進することでより広い学びにつながるのではないかと。



専門高校の代表として校長先生方より多くの御意見が寄せられました



産学連携について、これまでの取組を説明する月館コーディネーター



意見交換・協議の進行、まとめをお引き受けいただいた岡部氏

まとめ ONE-TEAM コミッティ委員（北海道産業教育審議会会長）岡部 善平 氏

- 学校と企業、中学校等との縦の連携において、まずは互いの目的を共有する場を設定することが大切。
- 中高連携、産学連携、学科間連携を単発の取組にせず、持続可能な形とすることが重要。
- 連携を深めるためには、適正規模の取組を行い、「確かな連携」を構築することが大切。

【図 19】 ONE-TEAM ニュース第5号（1 ページ目／全2 ページ）



好事例の紹介

学校と産業界の持続可能な連携について、先進的な事例や特色ある取組を紹介します。
今回は、ダイキン工業（株）と連携した旭川工業高校における人材育成についてです。

「旭川工業高校の空調設備に関する人材育成に協力したい」というダイキン工業（株）のご厚意で、令和5年度から連携が始まり、先生方がダイキンの研修施設を視察するとともに、工業高校におけるエアコンを活用した人材育成などについて意見交換を行ってきました。さらに、学校を会場として、「教員向け空調人材育成セミナー」を開催し、先生方が配管工事や取付工事、運転試験などを体験した上で、両者で意見交換を行い、エアコン据付実習を工業高校の教育課程に位置付けることとなりました。



ダイキン工業（株）



旭川工業高校



令和6年5月、学校で開催された「教員向け空調人材育成セミナー」では、先生方が空調に関する基礎知識の講習や、取付工事などの実技指導を受けました。

その後、今後の授業における実践について意見交換を行いました。



令和6年12月、エアコン据付実習用機材5セット（専用工具を含む）が贈呈されました。

贈呈された機材は、今後、科目「実習」や「空調設備」、出前講座などで活用します。



産業実務家教員の募集について

専門高校との持続的な連携が可能な個人又は企業等をリスト化し、全道の専門高校に配付することで、連携体制の構築を図ることを目的として、生徒に対して高度な知識・技術や、実践的・体験的な学習機会を提供していただける「**産業実務家教員**」を募集しています。

【産業実務家教員とは？】

専門高校との連携が可能な、各産業に従事する職業人又は事業所のことを本事業では「産業実務家教員」と呼んでいます。

生徒に対して高度な知識・技術や、実践的・体験的な学習機会を提供することに加え、各産業や会社毎の業務内容等について生徒に理解を深めてもらうことなどを目的としており、持続的で専門高校と産業界の双方にとってプラスとなる関係を構築することを目指します。

期待される連携の例



【申込締切】

令和7年（2025年）2月28日（金）

【申込に当たって】

- 連携の際に、交通費や謝礼などの支払いはありません。
- 個人又は営業所や工場などの事業所単位で登録してください。

【登録方法】

下の2次元コードを読み込み、道教委Webページ内「産業実務家教員に関する意向調査」の覧に掲載されているURLから登録フォームにアクセスし、御登録ください。

このような方々は是非、御登録下さい！

- 高校と連携した取組を行いたい、どこに連絡をするべきか分からない方。
- 高校生に自社や業界の業務内容を是非知ってもらいたいと考えている方。
- 会社に高校生を招いて、職場の意識改革を行いたいと考えている方。
- 業界の発展のために、高校生を積極的に指導したいと考えている方。

登録されたらどうなるの？

登録していただいた皆様の情報を集めた「産業実務家教員リスト」を作成し、全道の専門高校に配付します。

専門高校は各学校のニーズに合わせて、リストの中の産業実務家教員に直接連絡を取り、具体的な連携の実施に向けて、打合せを重ね、連携した取組を実施します。

産業界の皆さん、北海道産業の次代を担う
職業人材育成に向けて、御登録をお願いいたします。

左記資料や、「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」の詳細はこちら↓



【図 20】 ONE-TEAM ニュース第5号（2ページ目／全2ページ）



マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」

ONE-TEAM News

北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導係

第6号

令和7年(2025年)

3月17日

令和6年度から2か年で実施する文部科学省マイスター・ハイスクール普及促進事業「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」の取組や、専門高校と産業界との持続可能な連携の好事例について情報提供します。



『産学連携カンファレンス』を開催しました

令和7年2月20日(木)、産業界と連携している専門高校の取組や、成果を本道の産業教育の関係者が共有することにより、専門高校における持続可能な職業人材育成システムの構築を促進することを目的として開催しました。

生徒・教員・企業関係者を合わせて173名が参加し、産学連携の在り方について理解を深めました。

○発表1 「マイスター・ハイスクール事業における連携と成果について」

北海道厚岸翔洋高等学校 教頭 長谷川 智 人 氏



長谷川氏による発表と参加者の様子

<主な発表内容>

- 企業や関係機関と連携した学習活動において、資源管理型漁業へのIT活用や未利用魚を活用した新商品の開発による、ふるさと納税返礼品化などを図った成果について
- 多くの生徒に、「地域に貢献したい」という意識や「課題解決に向け多面的に考え行動することが多くなった」という実感があり、さらに自己肯定感の向上を感じるなど、意識・行動に変容が見られたことについて
- 産学連携による地域課題の解決に向け、高校3年間で系統的に取り組み、探究活動の充実が図られたことについて
- 自走化に向けた、学校設定科目やコミュニティ・スクールの導入について

○発表2 「地元放送局として専門高校を応援する理由～水産高校・農業高校ウィークをとおして～」

札幌テレビ放送株式会社 大 阪 し の 氏



STVの取組について説明する大阪氏

<主な発表内容>

- 「地域貢献をとおして、北海道になくてはならない企業になる」という自社の思いについて
- コロナ禍による教育機会の減少と、販路を失った農産加工品販売に対する支援として実施した「ほっかいどう農業高校大会」について
- 専門高校とコラボして取り組んだ企画に対する、視聴者からの多くの応援の声と、「もっと応援したい!」という思いから始めた農業高校や水産高校とのコラボ企画について
- 専門高校を応援することは地元テレビ局としての使命であり、そのためには、オール北海道での「横の連携」の必要性について

○グループ協議

協議議題1

A「地域の担い手を育成する専門高校の役割」

【教員・企業関係者】

B「産業界と連携した学びで得られたもの」

【生徒】

教員・企業関係者は、それぞれの立場から考える「専門高校の役割」について協議しました。

生徒は、産学連携の取組や、「学びで得られたこと」について、模造紙を用いてまとめました。



学科の垣根を越えた生徒による意見交換の様子



教員・企業関係者による協議の様子

協議議題2

「今後取り組んでみたい産学連携のかたち」

【生徒・教員・企業関係者】

生徒による協議1で話し合った「産業界との学びで得られたこと」についての発表の後、今後の産学連携のあるべき形や、どのような連携ができるか等について活発な意見交換が行われました。



協議議題1における内容を発表する生徒の様子

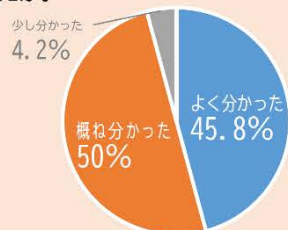


生徒を交えた活発な意見交換の様子



『産学連携カンファレンス』参加者の声

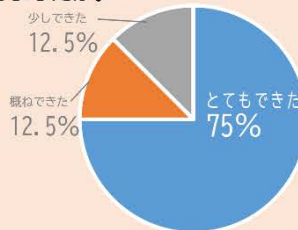
【企業関係者・経済団体関係者】
専門高校の取組や成果が分かりましたか。



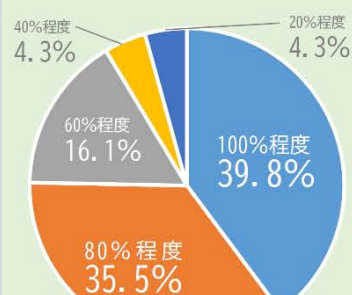
【専門高校の教員】
産学連携の意義や重要性について、理解を深めることができましたか。



【専門高校の生徒】
産学連携による効果を実感することはできましたか。



【参加者全体】
今後、持続可能な連携体制を構築する上で、本カンファレンスの満足度・充実度は何%程度でしたか。



○参加者からの主な感想

【企業関係者・経済団体関係者】

- ・本カンファレンスの定期的な開催を望む。
- ・商品開発から、販売・プロモーションまでの一連の流れを連携して行い、その利益を使ってさらに大きな挑戦をする3カ年プロジェクトのような長期的な取組をしたいと感じた。

【専門高校の教員】

- ・企業の方と教員や生徒が話し合う機会が多くないので、よい経験になった。
- ・まずは積極的に企業の方や経済団体の方と連絡を取ってみたいと思った。
- ・他の専門高校や企業との共同プロジェクトを立ち上げるのも面白いと感じた。
- ・連携している高校同士で、情報交換や学校訪問などつながりをもう少しもちたい。

【専門高校の生徒】

- ・地域との関わりや、高校生同士のコラボレーションなどを、もっとやるべきと感じた。
- ・様々なことに挑戦して、疑問や課題を見出すことを今後も実践したい。



次年度における取組の概要について

「北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト」の令和7年度（事業最終年度）の事業計画を策定しました。主な内容をご紹介します。

1 拠点校が1校→4校へ拡充

今年度は、R3～5年度のマイスター・ハイスクール指定校の静内農業高校が拠点校でしたが、令和7年度から右図のとおり、**農業・工業・商業・水産高校から各1校、合わせて4校の拠点校**で、持続可能な職業人材育成システムの横展開を推進します。

これにより、広大な北海道において、地域の特性を生かした連携構築の推進や、参集イベントの開催が可能になります。

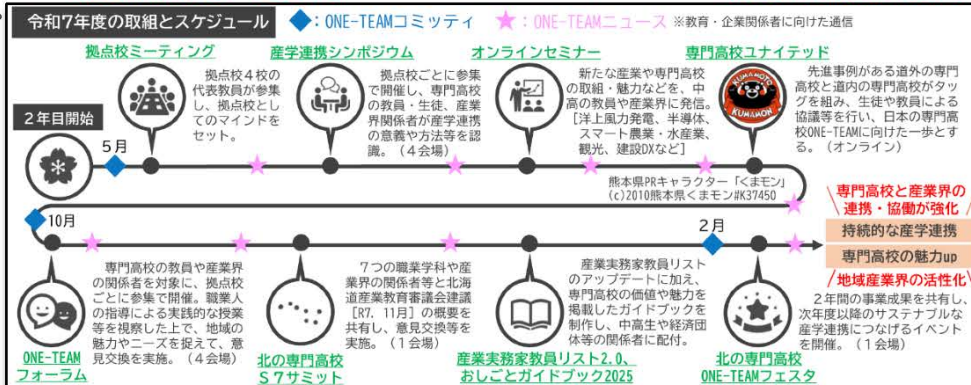


2 産学連携に資するイベント・セミナーの開催

下図の取組等を通じて、全道の専門高校における持続可能な産学連携体制の構築を目指します。

新たな企画として、先進事例がある道外の専門高校とタッグを組み実施する「**専門高校ユナイテッド**」や、職業学科の代表者と産業界で、意見交換を行う「**北の専門高校 S7サミット**」のほか、2年間の事業成果を共有する「**北の専門高校 ONE-TEAM フェスタ**」を開催します。

また、今年度1会場で実施した「産学連携シンポジウム」は、**4会場で開催**し、「ONE-TEAM ニュース」も9回発行し、情報発信を充実させます。



次年度も各種イベント、セミナーへの積極的な参加をお待ちしています。

本道産業の担い手を育成する道教委事業
「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト」 監修

中学生の進路選択に役立つ

職業学科

理解推進ガイド

POINT
01

道内公立高校に設置している**全ての職業学科**を一挙掲載

POINT
02

小学科ごとに学習内容や就職先などの詳細を掲載

商業

家庭

農業

工業

看護

水産

福祉



～職業学科～

道内の公立高校には、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉の7つの職業学科が設置されています。

本ガイドは、中学生や保護者、中学校の先生方に、職業学科についての理解を一層深めてもらうことを目的として作成しました。

令和6年10月 北海道教育庁学校教育局高校教育課

農 業 科

食料生産・環境創造の未来を支える人づくり

目指す人材像

農業や農業関連産業の学びを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人

学科設置校（21校）

岩見沢農業、深川東、新十津川農業、当別、倶知安農業、ニセコ、真狩、留寿都、壮瞥、静内農業、大野農業、旭川農業、富良野（新設校）、幌加内、遠別農業、美幌、帯広農業、更別農業、士幌、別海、中標津農業

（注）令和7年度入学者選抜の実施校

大学等進学率と主な進学先

進学率
45%

・帯広畜産大学
・弘前大学
・酪農学園大学
・東京農業大学 など

（注）令和6年3月卒（道教委調査）

農業科における学びのカテゴリー

農業科の学びは、大きく分けると次の4つのカテゴリーに分類できます。

① 生産技術・経営に関すること

作物や野菜、草花などの栽培、家畜の飼育や農業機械、植物バイオテクノロジー技術や、ICT機器を活用した最先端の農業技術について学びます。

【実習テーマの例】

野菜、草花等の播種から収穫までの管理、ウシ・ブタ・鶏等の飼養管理、ドローンによるセンシング、土壌分析等の栽培環境についての分析・調査、農業経営に関する実践的な学習、トラクターの乗車実習 など

【取得できる主な資格等】

農業技術検定、危険物取扱者、土壌医検定、家畜商免許、ガス・アーク溶接技能講習 など

【主な就職先】

就農、北海道庁（農業職）、北海道クボタ、中セキ北海道、カルビー、ホクリョウ など



【稲の収穫作業】



【ウシの飼養管理】

② 食品に関すること

食品加工に関する学習と製造実習、それに関わる微生物のはたらきや、食品の流通の仕組み、地域特産物を活用した商品開発などを学びます。

【実習テーマの例】

農産加工品製造（パン、ジャムなど）、肉加工品製造（ハム、ベーコンなど）、乳加工品製造（市乳、チーズなど）、食品化学・微生物に関する実験・衛生検査、実習生産物の販売実習 など

【取得できる主な資格等】

農業技術検定、食品衛生責任者養成講習、食生活アドバイザー など

【主な就職先】

スターゼンミートプロセッサー、国分北海道、六花亭、雪印メグミルク など



【ソーセージ製造実習】



【食品衛生検査】



③ 国土の保全や環境創造に関すること

農業土木施工や森林管理、造園など農業生産環境を創造する分野、森林経営等に関する分野について、先端技術の活用も含めて学びます。

【実習テーマの例】

測量や環境調査、ICT機器を使った土木施工、演習林における伐木実習、林道の整備、下草刈り、林産物を使った木工品製造(イスなど)、CADソフトを用いた造園設計、日本庭園・洋風庭園造成・ガーデニング など

【取得できる主な資格等】

農業技術検定、測量士補、土木施工管理技士補、造園技能士、刈払機取扱作業安全衛生教育 など

【主な就職先】

北海道開発局、北海道庁（技術職）、地崎道路、田端本堂カンパニー、砂子組、北海道森林管理局 など



【ドローンを用いた測量実習】



【演習林での木の伐倒実習】



④ 植物や動物、地域資源の活用や地域振興に関すること

農業生産物の活用や新たな価値創造について、さらに地域振興に寄与するため、地域資源を活用した学習などを行います。

【実習テーマの例】

フラワーアレンジメント、園芸セラピー、アニマルセラピーに関する実習、地域資源を生かした商品の開発・販売、実習生産物の販売、小学校等との交流学習 など

【取得できる主な資格等】

農業技術検定、リテールマーケティング（販売士）検定、フラワー装飾技能検定、初級園芸福祉士 など

【主な就職先】

JA、ホクレン、空知商工信用組合、特別養護老人ホーム、障がい者支援施設 など



【フラワーアレンジメント実習】



【ホースセラピーの学習】

特徴的な部活動等

【農業クラブ3大事業】

農業学習を通して、科学性、社会性、指導性の向上を目指し、日常の学習の中で探究活動に取り組みます。日々の探究学習の成果を発表する「実績発表大会」、日頃の学びから考えたことなどを発表する「意見発表大会」、農業に関する専門知識・技術を競う「技術競技大会」があり、優秀な成績を収めると全国大会に出場できます。

【プロジェクト専攻班】

日頃の学びを生かし、自ら課題を設定し、その解決に向けて、チームによる協働学習で、農業高校生全員が取り組みます。例えば、ドローンによるリモートセンシング技術を活用し、高品質な農業生産について研究する班や、地域特産物のコメを活用し、日本酒の開発に取り組む班もあります。また、地元の木材を活用したスロープトイを作成し、子ども達が木に親しむ機会を作る活動をしている班など、学校・学科ごとに多様な活動があります。



【農業クラブ実績発表大会】



【木の活動】

工業科 テクノロジーで未来を創る人づくり

目指す人材像

ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人

学科設置校（16校）

滝川工業、札幌工業、札幌琴似工業、
札幌国際情報、小樽未来創造、函館工業、
室蘭工業、苫小牧工業、旭川工業、
富良野（新設校）、名寄、留萌、北見工業、
紋別、帯広工業、釧路工業

（注）令和7年度入学者選抜の実施校

大学等進学率と主な進学先

進学率
33%

・室蘭工業大学
・北見工業大学
・北海学園大学
・北海道科学大学 など

（注）令和6年3月卒（道教委調査）

工業科における学びのカテゴリー

工業科の学びは、大きく分けると次の6つのカテゴリーに分類できます。



① 機械系

機械の設計や工作、加工の方法などを学びます。

【実習テーマの例】

溶接、鋳造、旋盤、機械加工、自動制御、原動機 など

【取得できる主な資格等】

ボイラー技士、危険物取扱者、ガス溶接技能講習

【主な就職先】

トヨタ自動車、日本製鉄、北海道旅客鉄道、北海道ガス、
北海道電力、デンソー北海道、東芝エレベータ、
ミツミ電機、サッポロビール、官公庁（機械職） など



【自動車整備の出前授業】



② 電気系

発電・送電・配電や自動制御などを学びます。

【実習テーマの例】

電気工事、モーター、自動制御、プログラミング など

【取得できる主な資格等】

電気工事士、電気主任技術者、危険物取扱者

【主な就職先】

トヨタ自動車、アイシン、富士電機、日立ビルシステム、
北海道電力、北海電気工事、北海道電気保安協会、
三菱電機ビルソリューションズ、官公庁（電気職） など



【洋上風力発電施設の見学】



③ 情報系

コンピュータを使った制御や通信の基礎を学びます。

【実習テーマの例】

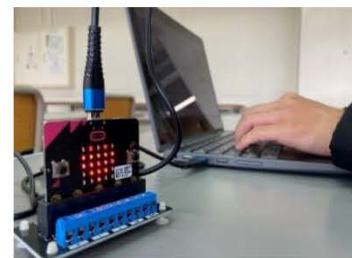
プログラミング、電子回路の特性、光通信の実験 など

【取得できる主な資格等】

工事担任者、ITパスポート、基本情報技術者

【主な就職先】

日立製作所、NTT-ME、キャノン、NTT東日本-北海道、
北海道日立、北海道電力ネットワーク、ミツミ電機、
セイコーエプソン、札幌日信電子 など



【プログラミングによるLED制御】



④ 建築系

ビルや住宅などの設計、製図、施工などを学びます。

【実習テーマの例】

木工、測量、CAD製図、軸組模型の製作、足場組立 など

【取得できる主な資格等】

建築CAD検定、トレース技能検定、建築施工管理技士補

【主な就職先】

浅沼組、鹿島クレス、大成設備、大和ハウスリフォーム、西原衛生工業所、伊藤組土建、岩田地崎建設、岩倉建設、丸彦渡辺建設、北海道開発局、官公庁（建築職） など



【3次元による建築物の設計】



⑤ 土木系

道路や鉄道、橋などの計画、設計、施工などを学びます。

【実習テーマの例】

測量、コンクリートの製作や強度試験、土質試験 など

【取得できる主な資格等】

土木施工管理技士補、測量士補、危険物取扱者

【主な就職先】

東京地下鉄、J-POWERハイテック、東日本高速道路、伊藤組土建、岩田地崎建設、岩倉建設、北海道旅客鉄道、砂子組、北海道開発局、官公庁（土木職） など



【VRを活用した安全教育】



⑥ 化学系

基礎化学や成分分析、材料製造などを学びます。

【実習テーマの例】

水の分析、消しゴムや湿布づくり、UV分析 など

【取得できる主な資格等】

危険物取扱者、毒物劇物取扱責任者、ボイラー技士

【主な就職先】

旭化成、出光興産、AGC、コスモ石油、三井化学、荏原環境プラント、日本製紙、苫東石油備蓄、ホクレン肥料、北海道ガス、ミツミ電機 など



【硫酸銅の製造実験】

特徴的な部活動等

【高校生ものづくりコンテスト】

全国工業高等学校長協会が、産業の発展を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者の育成を目的に開催している全国的な競技大会です。

現在は、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量、溶接の8部門で競う大会となっており、道大会の上位者が全国大会に出場できます。



【電気工事部門】

【北海道高等学校ロボット競技大会】

北海道工業高等学校長会と北海道高等学校工業クラブ連盟が、次世代を担う技術者としての資質を向上させることなどを目的に開催している競技大会です。

想像力を発揮して仲間と協力しながら、工夫を凝らしてロボットの製作・調整に取り組み、大会当日の点数を競います。道大会の上位者は、全国産業教育フェアにおいて開催される全国大会に出場できます。



【ロボットの操作】

商 業 科 ビジネスを通して未来を創る人づくり

目指す人材像

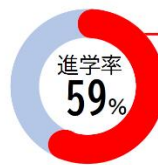
ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人

学科設置校（29校）

岩見沢緑陵、滝川西、奈井江商業、札幌国際情報、江別、千歳、札幌東商業、市立札幌啓北商業、有朋、小樽未来創造、岩内、虻田、苫小牧総合経済、函館商業、福島商業、八雲、旭川商業、土別翔雲、下川商業、留萌、苫前商業、稚内、北見商業、網走桂陽、紋別、帯広南商業、釧路商業、根室、中標津

（注）令和7年度入学者選抜の実施校

大学等進学率と主な進学先



- ・千葉商科大学
- ・小樽商科大学
- ・北海商科大学
- ・札幌大学
- ・札幌学院大学 など

（注）令和6年3月卒（道教委調査）

商業科における学びのカテゴリー

商業科の学びは、全員が学ぶ基礎的科目、総合的科目の他に、4つの分野を学習します。4つの分野をどのように学習するかは、各学校に設置されている小学科の特性や、地域の状況によって異なります。



基礎的科目

ビジネスの役割やビジネスに対する心構え、ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーションなど、ビジネスの基本を学びます。

【実習テーマの例】

ビジネスに関する計算、販売活動や電話応対時のビジネスマナー など

【取得できる主な資格等】

ビジネス計算実務検定、ビジネスコミュニケーション検定、英語検定 など



① マーケティング分野

消費者が商品を購入するまでの行動や意識などを調査することで顧客を理解し、新しい商品を開発したり、販売するための仕組みや、観光ビジネスを学びます。

【実習テーマの例】

企業における売買、商品開発、プロモーション、観光などのサービス、市場調査及び顧客との対応 など

【取得できる主な資格等】

商業経済検定 など



【販売活動のワークショップ】



② マネジメント分野

グローバルな経済の仕組みや法律などを踏まえて、経営資源を最適に組み合わせ、企業経営や新たなビジネスの創造と展開を学びます。

【実習テーマの例】

企業活動及び地域の経済や産業の動向の調査、法人税や消費税などの申告書の作成 など

【取得できる主な資格等】

商業経済検定、ファイナンシャル・プランナー など



【専門学校での体験学習】



③ 会計分野

会社が取引をする際の商品やお金の流れから、その会社の価値や利益などが分かる財務諸表等を作成し、利害関係者にその情報を提供してビジネスに活用する仕組みを学びます。

【実習テーマの例】

企業における会計処理、会計ソフトウェアの活用、財務諸表分析 など

【取得できる主な資格等】

簿記実務検定、財務諸表分析検定、財務会計検定、管理会計検定 など



【財務諸表分析の授業風景】



④ ビジネス情報分野

適切な情報を提供するため、ワープロや表計算、プレゼンテーションソフトの使い方、ネットワークやセキュリティなど、コンピュータの知識・技術を基礎から学びます。

【実習テーマの例】

ソフトウェアを活用した情報の分析、プログラミング、情報システムの開発、ウェブページ制作 など

【取得できる主な資格等】

ITパスポート、基本情報処理技術者、ビジネス文書実務検定、情報処理検定 など



【高大連携でのプログラミング授業】



総合的科目

商業の基礎的科目と上記の4つの分野で学習した内容をもとに、ビジネスに関する課題を解決するために研究したり、より実務に即した体験的・実践的な学習を行います。

【実習テーマの例】

新商品の企画と開発、観光などのサービスに関する実習、パッケージデザイン、地域の経済や産業の動向の調査、コンピュータを活用した経営のシミュレーション、企業の財政状態や経営成績などの分析、コンピュータを活用した会計帳簿の作成、企業活動を改善する情報システムの開発、データベースの構築、アプリ開発 など



主な就職先

事務職や販売、製造、公務員など、就職先は様々です。

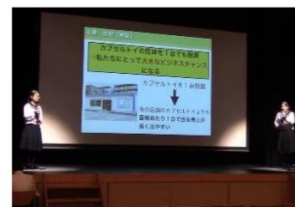
北洋銀行、旭川信用金庫、日本郵便北海道支社、北海道電力、北海道旅客鉄道、旭川トヨタ、ケイシーシー、柳月、イオン北海道、ジョイフルエーカー、星野リゾート、ANA FESTA、北海道職員（一般行政）、北海道警察、市町村職員 など

特徴的な部活動等

【各種競技大会】

全国商業高等学校長協会が、商業教育の一層の充実と振興を図り、商業を学ぶ生徒がそれぞれの技術を高めることを目的に開催している全国的な競技大会です。

情報処理、簿記、ビジネス計算、ワープロ、プログラミングコンテスト、英語スピーチコンテスト、生徒商業研究の7つの大会があり、各大会における道大会の上位者が全国大会に出場できます。



【生徒商業研究大会】

【商業教育フェア】

道内高等学校で商業に関する科目を学ぶ生徒が、商品の開発や販売等に関する学習活動を実践するイベントです。

他校の生徒や来場されたお客様との交流を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高め、将来の産業界を担う「スペシャリスト」の育成と、商業教育の活性化を目指して行われています。



【商業教育フェア】

水産科 海の明日を切り拓く人づくり

目指す人材像

水産業や海洋関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人

学科設置校（3校）

小樽水産、函館水産、厚岸翔洋

水産科における学びのカテゴリー

水産科の学びは、大きく分けると次の5つのカテゴリーに分類できます。



① 海洋漁業系

漁業生産に関する技術の習得及び船舶の運航に必要な資格「海技士」の取得を目指します。

【学科（コース）設置校】

小樽水産（海洋漁業科）
函館水産（海洋技術科）

【取得できる主な資格等】

海技士（航海）、小型船舶操縦士、潜水士など
※海技士は就職後、乗船履歴を得ることで取得できる。

【主な就職先】

漁船、貨物船（タンカー、RORO船等）、フェリー、
海洋調査船、官公庁船（北海道の実習船、取締船等）など

【専攻科】（設置校：小樽水産）



小樽水産の海洋コースでは潜水士の資格を取得できます。



【乗船実習（出航式）】



② 海洋工学系

船舶の運航に必要な資格「海技士」の取得に必要な、エンジンや機械の知識を学ぶことができます。

【学科（コース）設置校】

函館水産（機関工学科）

【取得できる主な資格等】

海技士（機関）、第三種冷凍機械責任者、小型船舶操縦士、ボイラー技士など
※海技士は就職後、乗船履歴を得ることで取得できる。

【主な就職先】

貨物船（タンカー、RORO船等）、フェリー、海洋調査船、
官公庁船（北海道の実習船、取締船等）、造船会社、自動車関連企業、冷凍倉庫業など

【専攻科】（設置校：函館水産）



【CADを用いた設計の実習】



③ 情報通信系

電気通信や情報通信などを学びます。

【学科（コース）設置校】

小樽水産（情報通信科）

【取得できる主な資格等】

総合無線通信士、陸上無線技術士、
特殊無線技士（海上・陸上）、電気
工事士、電気通信工事担任者など

【主な就職先】

電力会社、通信関連企業など

【専攻科】（設置校：小樽水産）



学校の屋上に設置されているアンテナタワー



【電気通信実習】



④ 資源増殖系

種苗生産・資源管理や操船や潜水などを学びます。

【学科（コース）設置校】

小樽水産（栽培漁業科）、厚岸翔洋（海洋資源科）、
函館水産（海洋技術科）

【取得できる主な資格等】

小型船舶操縦士、潜士など

【主な就職先】

増殖事業に関する団体、水族館、
養殖業者、漁業組合、潜水関連企業、漁業後継など



サケの人工
種苗生産な
ど、本格的
な資源増殖
を学びます。



【水族館メンテナンス実習】



⑤ 水産食品系・その他

食品の加工、管理、開発、調理などを学びます。

【学科（コース）設置校】

小樽水産（水産食品科）、厚岸翔洋（海洋資源科）
函館水産（水産食品科、品質管理流通科）

【取得できる主な資格等】

食品衛生責任者、販売士、食生活アドバイザー
ボイラー技士、調理師（厚岸翔洋のみ）など

【主な就職先】

食品加工業、食品販売業、食品物流関連企業、
船舶（司厨）など



【調理実習】

乗船実習では漁業も学び、国際交流も実施

長期の乗船実習では、これまでにハワイやパラオ、台湾などに
寄港し国際交流なども実施しています。その航海中に航海や機関
に関する実習のほか、マグロ延縄実習を行うなど、漁業について
も学び、水揚げしたマグロは、漁獲した生徒が販売したり、水産
食品系の学科が缶詰にして販売するなど、地域の方々に喜ばれて
います。



2隻の実習船が大海原を駆け抜ける



【若竹丸】

2年次の長期乗船では国際航海を行う。
692トン 定員79名



【北鳳丸】

主に専攻科が乗船。遠洋区域を航行する。
634トン 定員55名

進学や船舶への就職で教員も目指せる

水産・海洋系の大学や短期大学への進学、船舶への就職で教員の資格が得られ、母校で教
員として勤務している卒業生も多くいます。

【水産・海洋系への進学実績】 水産大学校、福井県立大学、東海大学、福山大学、徳島文理
大学、東洋食品短期大学、国立海上技術短期大学（小樽、宮古、清水）、小樽水産高校専攻
科、函館水産高校専攻科など

家庭科 人と人をつなぐ人づくり

目指す人材像

よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する職業人



家政系

【学科設置校】

江別高校（生活デザイン科）、当別高校（家政科）
※江別高校には「服飾」と「染織インテリア」、当別高校には「保育」と「食物調理」の各コースがあります。

【開設されている授業】

ファッション造形基礎、フードデザイン、住生活デザイン、生活産業基礎、保育基礎、服飾文化、染織製作など

【取得できる主な資格等】

家庭科被服製作技術検定、家庭科食物調理技術検定、【異世代交流ファッションショー】
家庭科保育技術検定、色彩能力検定、建築CAD検定、
食品衛生責任者など

【主な進路先】

札幌大谷大学、北翔大学、酪農学園大学、藤女子大学、札幌保健医療大学、札幌大学、
光塩女子短期大学部、北海道文化服装専門学校、札幌こども専門学校、辻調理師専門学校など



看護科 北海道の医療を支える人づくり

目指す人材像

地域や社会の保健・医療を支え、人々の健康の保持増進に寄与する職業人

学科設置校（2校）

美唄聖華、稚内 （注）令和7年度入学者選抜の実施校

衛生看護科を設置する2校は、高等学校の看護に関する学科とその専攻科において、5年間の一貫したカリキュラムで看護師を養成するための教育を行う「**5年一貫教育**」を実施しています。

看護師国家試験合格率



（注）令和6年3月卒（道教委調査）

看護科における学び



衛生看護科

【実習テーマの例】

看護臨地実習（病院で行う看護実習）、体位変換（患者の水平移動や上方移動など）、バイタルサイン測定、血圧測定、ベッドメイキング、シュミレータやICT機器を活用した看護実習など

※多様な看護の場面を想定した実習を行います。

【取得できる主な資格等】

看護師国家試験

【主な就職先】

北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、市立美唄病院、市立稚内病院、北海道立旭川高等看護専門学院助産学科、北海教育大学養護教諭特別別科など



【シミュレーション実習】



【戴帽式】

福祉科 持続可能な福祉社会を担う人づくり

目指す人材像

人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人



福祉系

【学科設置校】

置戸高校（福祉科）

※介護福祉士国家試験の受験資格が得られるコースと福祉の心を基盤に、さまざまな分野への進学や就職を目指すコースがあります。

【取得できる主な資格等】

介護福祉士、介護職員初任者研修、救急救命講習など

【主な進路先】

特別養護老人ホーム、北海道医療大学、名寄市立大学、福祉系専門学校など

【その他、介護福祉士国家試験の受験資格が得られる公立高校】

留寿都高校（農業福祉科農業福祉コース）、剣淵高校（総合学科生活福祉系列）

介護福祉士合格率
令和2年度より4年連続100%



【介護実習】

寄宿舎について

農業科・水産科・看護科・福祉科には、寄宿舎（寮）が設置されている学校もあり、全道から同じ目的をもった生徒が共同生活を送っています。

3年間で寮で過ごす学校のほかに、1年生は全員が入寮し、2・3年生は選考により入寮できるといった制度を設けている学校もあります。



専攻科について

高校を卒業後に進学可能な専攻科（2年間）には、国家資格を取得する目的等で設置されているものと、自営者・後継者を育成するものがあり、要件を満たせば、他の高校を卒業した生徒でも入学することができます。

【国家資格を取得する目的等で設置】

- 美唄聖華高校と稚内高校の看護科では、通常、看護師になるのに6年以上かかるころ、一貫教育によって5年で国家資格を目指すことができます。**国家試験の合格率は全国平均を上回り**、保健師・助産師・養護教諭を目指して進学する生徒もいます。
- 水産高校の専攻科である、漁業科（小樽水産高校）と機関科（函館水産高校）では、2年間のうち11か月の乗船実習を経て、**修了とともに上級の海技士（航海・機関）を取得でき**、船長や機関長を目指します。また、情報通信科（小樽水産高校）では、航空局・海上保安庁、警察情報通信部や衛星通信関連企業などへの就職を目指します。

【自営業・後継者を育成する目的で設置】

- 富良野緑峰高校と別海高校には、農業特別専攻科が設置されており、**農業経営者や酪農自営者**となるために、高い教養と専門的知識・技術の深化を図り、**新しい時代の農業を発展させる人材育成**を行っています。
- ※富良野緑峰高校は令和7年4月に新設校となり専攻科は引き継がれます。